

# 平成14年度事務事業評価結果 の公表について

市では、地方分権時代にふさわしい自主・自立のまちづくりを進めていくために、平成13年度より行政評価システム導入の取り組みをはじめております。平成15年度におきましては、昨年度の試行評価を踏まえて、社会資本整備等のハード事業を除く全事務事業を評価対象とし、本格実施を行いました。この度、その結果がまとまりましたので公表します。

行政評価は、全国的にも未だ確立された手法があるわけではなく、先行して取り組みをはじめた他の自治体におきましても、評価を重ね、段階的に改善・工夫を加えている状況です。

今後、行政評価を進めるにあたり、市民の皆様のご意見をいただきながら質の高い行政評価システムを構築していきたいと考えていますので、御覧いただき、ご意見などを担当までお寄せください。

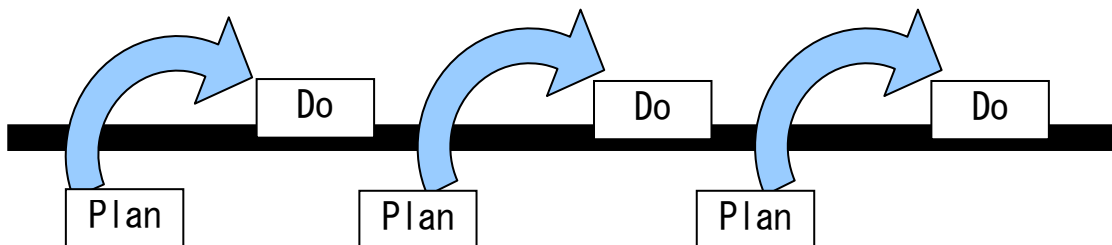
【 担 当 】 総務部事務管理課行政評価係  
TEL 24-3131 (内線 575) FAX 22-8852  
Eメール jimukanri@city.chitose.hokkaido.jp

- I 行政評価とは
- II 千歳市の行政評価
  - (1) 導入目的
  - (2) 評価対象について
  - (3) 評価方法及び評価主体について
- III 評価シートの記載内容について
- IV 評価結果について
- V 事務事業評価シートの見かた

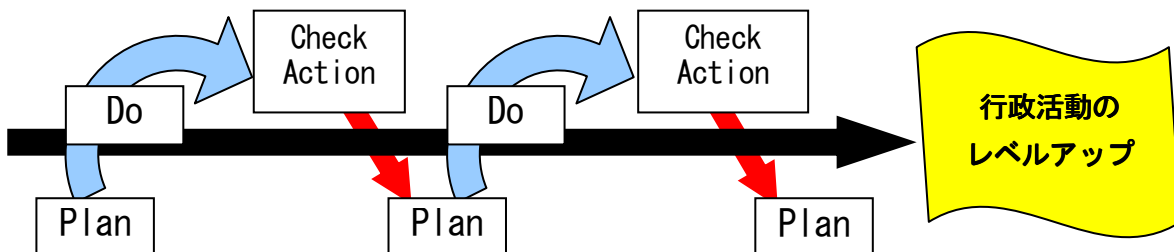
## I 行政評価とは

これまでは、行政活動の結果があまり重視されてこなかったのではないかとされています。行政評価が目指すものは、行政活動の結果を評価することにより、次の計画、実施の改善につなげる Plan(計画)－Do(実施)－Check(評価)－Action(改善)－Plan(計画)－Do(実施)・・・と循環するサイクルを行財政運営のシステムにすることです。このことによって行政活動をより効果的・効率的なものにしていくことを目指しています。

### 従来型の行政運営



### 行政評価が目指すマネジメントサイクル



## II 千歳市の行政評価

### (1) 導入目的

行政評価システム導入の目的は次のとおりです。

- 職員の意識改革
- 市民満足度を重視した施策・事業の展開
- アカウンタビリティ（住民への説明責任）の実行

多様化する市民ニーズに対応して効果的・効率的な行財政運営を進め、その結果について市民への説明責任を果たすためには、職員自らが目的意識を

もって事業を進めていくことが必要となります。このことから、当面は「職員の意識改革」について優先的に取り組みをしました。

## (2) 評価対象について

平成 15 年度事務事業評価の対象事業は、ハード事業（社会資本整備等）を除く全事務事業としています。（評価事業の総数 743 事業）

## (3) 評価方法及び評価主体について

評価方法は、事務事業の担当による自己評価としています。

また、各職責に応じて事務事業の課題検討や改善に向けた提案が行えるよう係長・課長・次長・部長が分担して事務事業評価シートを作成し、主として事務事業を担当する係長職が事務事業の概要・数値による実績測定・項目別評価について記載し、それをもとに担当課長等が評価のまとめを行い、担当部長・次長等が優先度を記載し、最終的に事務事業の今後の方向付けを行っています。

## Ⅲ 評価シートの記載内容について

本市の事務事業評価は、事務事業の担当による自己評価を採用しており、評価シートに記入している改善内容等については、千歳市として最終的な方向性を決定したものではありませんが、今後、各事務事業がより良い成果を提供できる取り組みとするため、対応可能な事項は直ちに改善を行い、また、市民に対する影響が大きいものについては、市民の皆さんや市内のさまざまな部署と幅広く議論を行い、実現に向けて取り組みを進めます。

なお、事務事業の内容については各担当課に、行政評価システムの内容については事務管理課行政評価係にお問い合わせください。

## IV 評価結果について

平成 14 年度に実施した 743 事務事業を対象に評価を行い、次のとおりの結果となっています。

- (1) 事務事業の必要性については、解決しようとしている課題・市民ニーズ等とその今後の動向からみて必要性は高いのか。また、取りやめた場合の影響の視点から事務事業の担当者が 4 つの区分に分類しています。

※この項目は事務事業の担当者（主に係長）が主観的な判断を交え分類しています

区 分	分類	①	②	③	④	合計
事務事業の必要性	件数	172	272	247	52	743
	割合	23.1%	36.6%	33.2%	7.0%	

分類① 事務事業の目的が、国が保障する国民の生活水準（＝ナショナルミニマム）に関わるもの

分類② 事務事業の目的が、千歳市が保障する市民生活の最低基準（＝シビルミニマム）に関わるもの

分類③ 千歳市のシビルミニマムを越えるサービスを目的とする事務事業で、市民ニーズが大きいと考えられるもの

分類④ 千歳市のシビルミニマムを越えるサービスを目的とする事務事業で、市民ニーズが小さいと考えられるもの

- (2) 市の関与の妥当性については、評価対象となる事務事業に市が関与する理由の妥当性。また、民間企業、市民団体などによる事業実施の可能性についての視点から、事務事業の担当者が 4 つの区分に分類しています。

※この項目は事務事業の担当者（主に係長）が主観的な判断を交え分類しています

区 分	分類	I	II	III	IV	合計
市の関与の妥当性	件数	208	367	134	34	743
	割合	28.0%	49.4%	18.0%	4.6%	

分類 I 法定受託事務（法令等により、市が直接実施することが定められている事務事業）

分類 II 法令の趣旨や公平性、安全性などの観点から市が実施主体となり、民間企業や市民団体に補完的な役割を期待する事務事業

分類 III 実施主体としては民間企業や市民団体などが適当であるが、法令の趣旨や収益性等の観点から市が補完的な役割を担うことが必要な事務事業

分類 IV 事務事業の性格や効率性の観点から、民間企業や市民団体等による実施が妥当な事務事業

事務事業の担当者（主に係長）が行っている必要性の評価では、千歳市のシビルミニマムを越えるサービスを目的とする事務事業で市民ニーズが小さいと考えられるもの（分類④）として52事業。

また、市の関与の妥当性においても、34事業が民間企業や市民団体等による実施が妥当な事務事業（分類Ⅳ）とされ、必要性和市の関与の妥当性の視点から改善点や課題が示されています。

同じく、担当者が行った項目別評価を見ると、経済性（コスト削減の余地はないか）、効率性（効率的に進めているか）、有効性（成果が上がっているか）の視点から評価したところD評点（低い評価結果）となったものもあり、課題や改善提案が示されています。

また、手段の妥当性（現状の細事業が妥当な手段か）においては、21事業が細事業（行政の活動）の改廃・改善の必要性があるとされています。

このように、担当者レベルでさまざまな視点から評価を行った結果、多くの改革改善の課題が示され、問題意識を常に持ちながら事務事業を遂行するという当市の行政評価の目的としては一定程度成果があったと考えられます。

なお、これらの課題については実施可能な案件から計画的に対応することが必要とされます。

※この項目は事務事業の担当者（主に係長）が主観的な判断を交え評価しています

区 分	評点	高い ← ← → → 低い				合計
		A	B	C	D	
経 済 性 (コスト削減の余地はないか)	件数	311	299	102	31	743
	割合	41.9%	40.2%	13.7%	4.2%	
効 率 性 (効率的に進められているか)	件数	299	329	92	23	743
	割合	40.2%	44.3%	12.4%	3.1%	
有 効 性 (成果が上がっているか)	件数	352	304	71	16	743
	割合	47.4%	40.9%	9.6%	2.2%	
中項目への貢献度 (他の事業に比べ貢献度は大きい)	件数	411	257	57	18	743
	割合	55.3%	34.6%	7.7%	2.4%	
手段の妥当性 (現状の細事業が妥当な手段か)	件数	300	329	93	21	743
	割合	40.4%	44.3%	12.5%	2.8%	

次に、事務事業の優先度に関しては、事務事業の担当者が記入した評価内容や、担当課長が記入した評価結果のまとめについて総合的に判断し、施策の管理者である部長・次長が部内における事務事業の相対的な優先度をA～Dに各25%ずつ分類することにより、所管する事務事業の位置づけを明確にしています。

このことは、A評点が拡大、D評点が廃止といった単純な結論になるものではなく、今後導入を予定している施策評価<sup>※</sup>を進める中で、全庁的な位置づけを整理する際には優先度が重要となるものと考えております。

※この項目は、部長・次長が所管する事務事業を相対的に評価しています

区 分	評点	高い ← ← → → 低い				合計
		A	B	C	D	
優 先 度	件数	204	196	180	163	743
	割合	27.5%	26.4%	24.2%	21.9%	

評価の結論として、担当課において事務事業の方向性を総合的に検討した結果、164事業について見直して継続する必要があり、また、13事業については休止・廃止との方向付けを行っています。

※この項目は、課内で事業の内容を総合的に検討し記入しています

区 分	分類	1.現状のまま継続	2.見直して継続	3.休止・廃止	4.終了・完了	合計
事務事業の方向性	件数	556	164	13	10	743
	割合	74.8%	22.1%	1.7%	1.3%	

この事務事業評価シートの項目別評価は、事業担当者が自己評価にて作成しており、政治的な判断や全庁的な施策の順位付けが考慮され方針決定されたものではありませんが、市の進める事業内容や問題点を市民の皆さんと共有し、多くのご意見をいただくことにより、更に市民満足度の高い事務事業へと転換していきたいと考えております。

※ 施策評価とは、事務事業を関連する分野ごとにいくつかのグループに分類(この単位が施策)し、各事務事業の成果達成状況や上位に位置づける政策への貢献度を総合的に判断し評価を行うこと。

# 事務事業評価シートの見かた

評価年度	15年度	事業年度	14年度
------	------	------	------

整理番号		所属コード		所属名	事務事業の実施係名が記入されています		
記入責任者	責任者(課長)名が記入されています			問合せ	電話 (0123)##-####	内線 ###	

## 1 事務事業の概要 (PLAN 1)

名称	評価対象の事務事業名が記入されています						
施策体系	小項目コード	(大項目)	(中項目)	(小項目)	この事業が担う施策について、長期計画に位置づけられている項目(大~小項目)を記入しています		
中項目の目的	当該事務事業の上位の目的となる「中項目」の目的を具体的に記入しています						
他事業等との関連	(関連事業)			(関連部署)			
実施根拠	1.法令(義務) 2.法令(任意) 3.条例 4.規則・要綱等 5.その他 6.なし 根拠法令・条例等の名称 →						
実施主体	1.国 2.道 3.市 4.外郭			他の事業との関連、実施根拠、実施主体、実施期間、事務事業の種類、会計区分、補助区分について記入しています			1.法定受託事務 2.自治事務
実施期間	開始	年度	終				
会計名	1.一般会計 2.特別会計						
科目コード	款	コード	項	コード	目	コード	
補助・単区分	1.全額補助 2.一部補助 3.補助事業の上乗せ・横出しあり 4.補助なし						

## 2 事務事業の目的 (PLAN 2)

事務事業の目的	事務事業の目的を具体的に記入しています。							
事務事業の目的の分解	(1) 対象 - 具体的に誰(なに)を 対象の数 ( )			成果指標(アウトカム)				
	当該事務事業の対象を具体的に記入しています			本来の指標	事務事業の成果を示すため、計測可能な数値指標が記入されています			
	(2) 意図 - どのような状態にしたいのか 事務事業を実施することで、「対象」をどのような状態にしたいのか具体的に記入しています			代替指標	H14目標値			
事務事業の内容	細事業1	(名称) 事務事業の下位レベルにあたる細事業名(行政の直接行う活動)を記入しています					活動指標(アウトプット)1	
	(1) 対象 - 具体的に誰(なに)を 対象の数 ( )			細事業の対象を記入しています			(名称)	細事業の具体的な活動量を数値で示すための活動指標の名称、単位、目標値を記入しています
	(2) 手段 - どのような方法で(細事業の内容)			細事業が、どのような方法で対象に働きかけるかを記入しています			(単位)	
	(3) 意図 - どのような状態にしたいのか 対象を、どのような状態にしたいのかについて、具体的に記入しています			H14			(目標値)	
	細事業2	(名称)					活動指標(アウトプット)2	
	(1) 対象 - 具体的に誰(なに)を 対象の数 ( )			事務事業と細事業の関係について			1つの目的をもつ(成果を達成することのできる)単位を事務事業とし、その目的を達成するための手段(行政が直接行う活動)の単位を細事業と位置づけています	
	(2) 手段 - どのような方法で(細事業の内容)							
	(3) 意図 - どのような状態にしたいのか							
	細事業3	(名称)					活動指標(アウトプット)3	
	(1) 対象 - 具体的に誰(なに)を 対象の数 ( )						(名称)	
(2) 手段 - どのような方法で(細事業の内容)						(単位)		
(3) 意図 - どのような状態にしたいのか						(目標値)		
細事業4	(名称)	活動指標 4				(名称)		
細事業5	(名称)	活動指標 5				(名称)		
細事業6	(名称)	活動指標 6				(名称)		
細事業7	(名称)	活動指標 7				(名称)		
細事業8	(名称)	活動指標 8				(名称)		
細事業9	(名称)	活動指標 9				(名称)		

この評価シートに関するお問い合わせは、\*\*\*\*\* までお願いします

3 数値による実績測定 (DO)

区 分		H12	H13	H14 (評価対象年度)	H15 (見込み)	目標年度
細事業 1	指標名	(名称)				(単位)
	目標値 (A)			0.0		H18
	実績値 (B)					備 考
	達成率 B/A					
	前年度比増 減					
活動指標 2	指標名	(名称)				(単位)
	目標値 (C)			0.0		H18
	実績値 (D)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     細事業の活動指標について、年度別に目標値を定め、その達成率と前年度からの増減について記入しています                 </div>				備 考
	達成率 D/C					
	前年度比増 減					
前年度比増 減						
細事業 3	指標名	(名称)				(単位)
	目標値 (E)			0.0		H18
	実績値 (F)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     特定の年度までに達成しようとしている目標が設定されている場合は、その年度と目標値が記入しています                 </div>				備 考
	達成率 F/E					
	前年度比増 減					
前年度比増 減						
成果指標	(本来の指標名)	(計算式または単位)	(代替指標名)		(計算式または単位)	
	目標値 (Y)					H18
	実績値 (Z)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     事務事業の成果指標について、年度別に目標値を定め、その達成率と前年度からの増減について記入しています                 </div>				備 考
	達成率 Z/Y					
	前年度比増 減					
前年度比増 減						
総経費	直接経費	千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     この事務事業の目標を達成するための総経費が記入されています                      直接経費は、その事業を行うために要した経費(委託料、個人や団体への給付金・補助金、備品購入費等)の合計が記入されています                      人件費は、この事務事業に関わった延べ日数に1日分の平均人件費を乗じて計算しています                 </div>			千円
	人件費	千円				千円
	計	0 千円				千円
	前年度比増 減					%
財源	国庫支出金	千円	千円	千円	千円	
	道支出金	千円	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     総経費がどのような財源によりの実施されているか内訳について記載しています                 </div>		
	受益者負担	千円	千円			
	その他特定財源	千円	千円	千円	千円	
	一般財源(補助事業分)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     一般財源とは、市民の皆さんから納付いただいた市民税を主とする財源です                 </div>			千円	千円
	一般財源(単独事業分)				千円	千円
計	0 千円	0 千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     事務事業の終了年度が設定されている場合、開始当初から終了までに係る事業費の概算合計が記入しています                 </div>			
総事業費						千円
関連コスト			千円	内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     事務事業を実施するにあたって初期投資などを行った場合は、関連するコストの総額及び内容について記載されています                 </div>	

この評価シートに関するお問い合わせは \*\*\*\*\* までお願いします

3 数値による実績測定 (DO)

このシートは、細事業数が4以上の場合に記載します

区分		H12	H13	H14 (評価対象年度)	H15 (見込み)	目標年度
活動指標	細事業4	指標名 (名称)				(単位)
		目標値 (A)				H18
		実績値 (B)				備考
		達成率 B/A				
		前年度比増減				
	細事業5	指標名 (名称)				(単位)
		目標値 (C)				H18
		実績値 (D)				備考
		達成率 D/C				
		前年度比増減				
	細事業6	指標名 (名称)				(単位)
		目標値 (E)				H18
		実績値 (F)				備考
		達成率 F/E				
		前年度比増減				
	細事業7	指標名 (名称)				(単位)
		目標値 (A)				H18
		実績値 (B)				備考
		達成率 B/A				
		前年度比増減				
細事業8	指標名 (名称)				(単位)	
	目標値 (C)				H18	
	実績値 (D)				備考	
	達成率 D/C					
	前年度比増減					
細事業9	指標名 (名称)				(単位)	
	目標値 (E)				H18	
	実績値 (F)				備考	
	達成率 F/E					
	前年度比増減					

このシートは、細事業が4件以上ある事務事業についてのみ記入しています

この評価シートに関するお問い合わせは、事務事業の実施係名が記入されています (0123)##-#### ## までお願いします

(2-2/3)

